



熟女の叔母

さんに「カワイイを

連呼

しちゃうヤバい

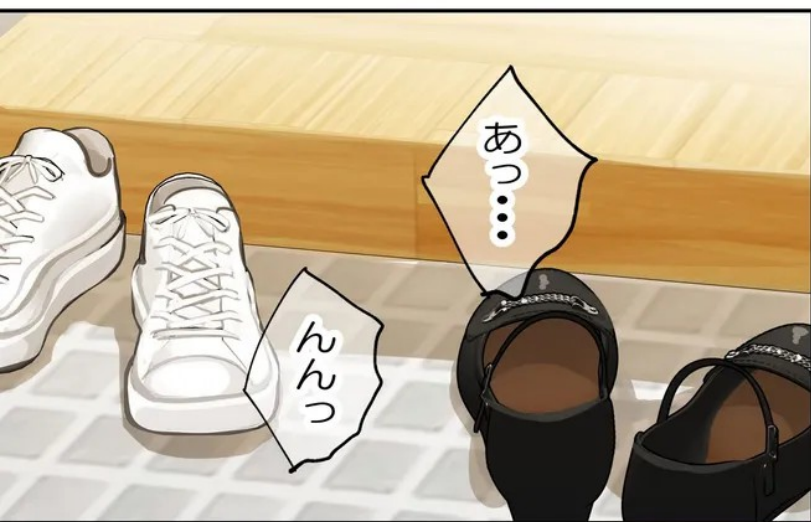
甥

子

の

話

2.5





はっ

はっ

コースゲ:

そこっ

ゴリゴリしてえ

パチン

パニ

パン

はっ...ああああ

や...ば

変な声出ちゃう...

はー

あひっ...

ぐちっ♡

びく

はっ

びく

はー



1か月が経った...

ダメですよ
大きな声出しちゃ...
ご近所さんに聞こえちゃう...

コースケとセフレになったあの日から...

オム



後ろめたさや後悔は...
沢山ある...

声でちゃうっ

だけど...

ぐちゅ



今では2人で会社を抜け出して...

コースケのアパートでセックスする毎日だ...

それ...だめだって...

カリ
はー

はー

それ以上に…

んおおっ

ホントだ…変な
声でてるw

はっ

この快感に
抗えない…

はっ

堕ちた…
のだと思う

ひっはー

くっくっ

びくっ

やっ…あ

はっ

おっ…
締まった

あの日から…

ズッ

ズッ

私の身体は…

グッ

しずかに
してくださいね

はっ

はっ

おっ…

ズッ

おっ

ズッ

私はきつと…

コースケの
いいなりだ・

キュン♡

シャア

ビクン

シャア

キュ

イグッ！イグッ！

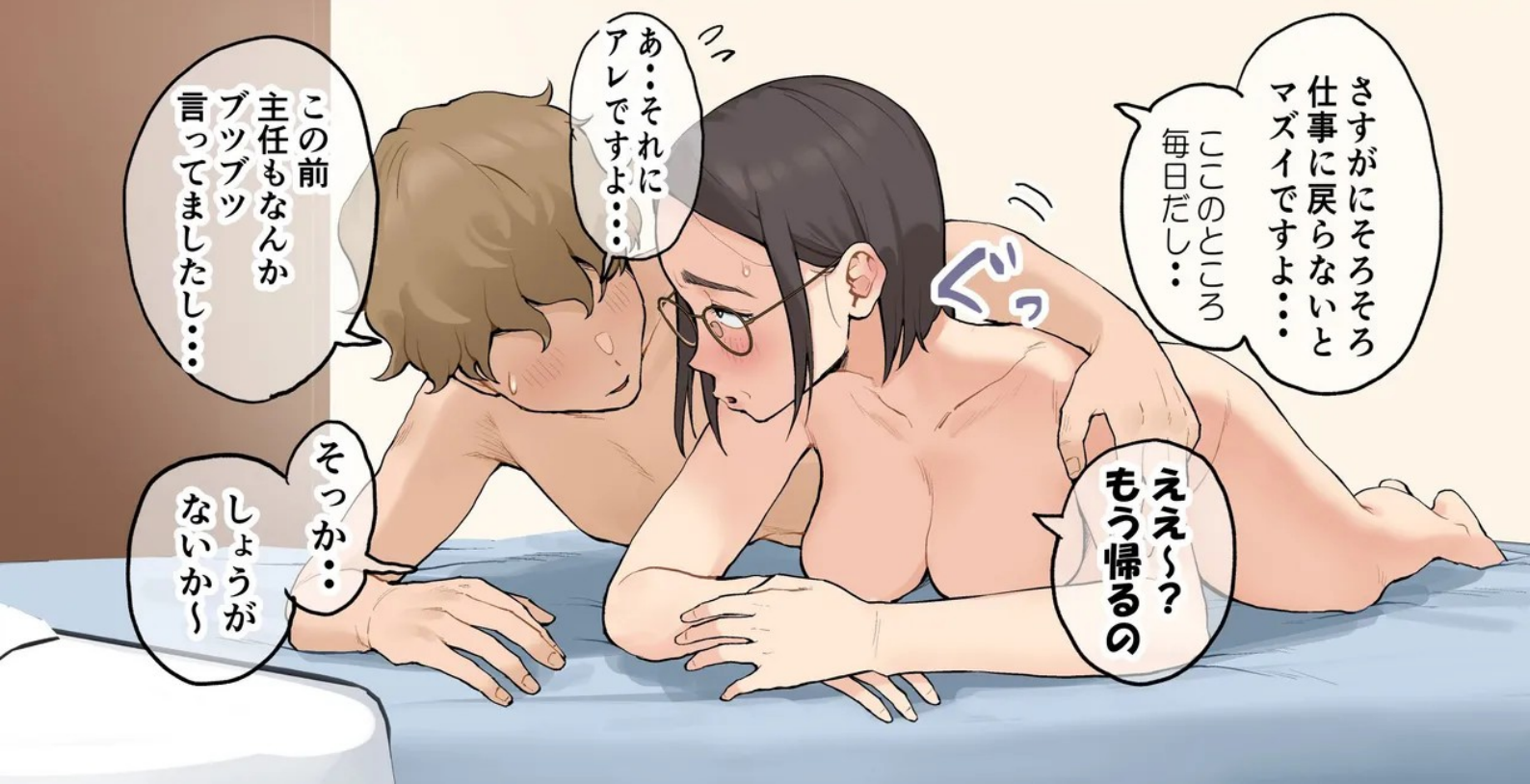
キュ

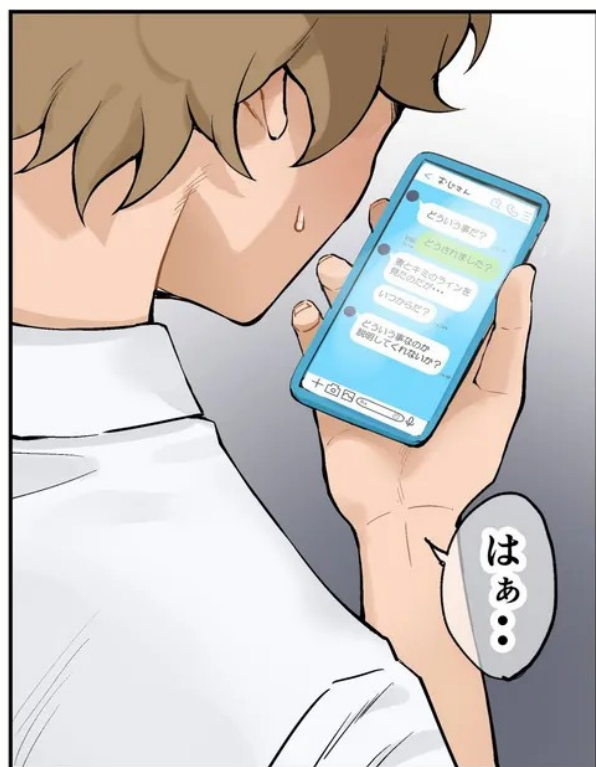
イグッ！

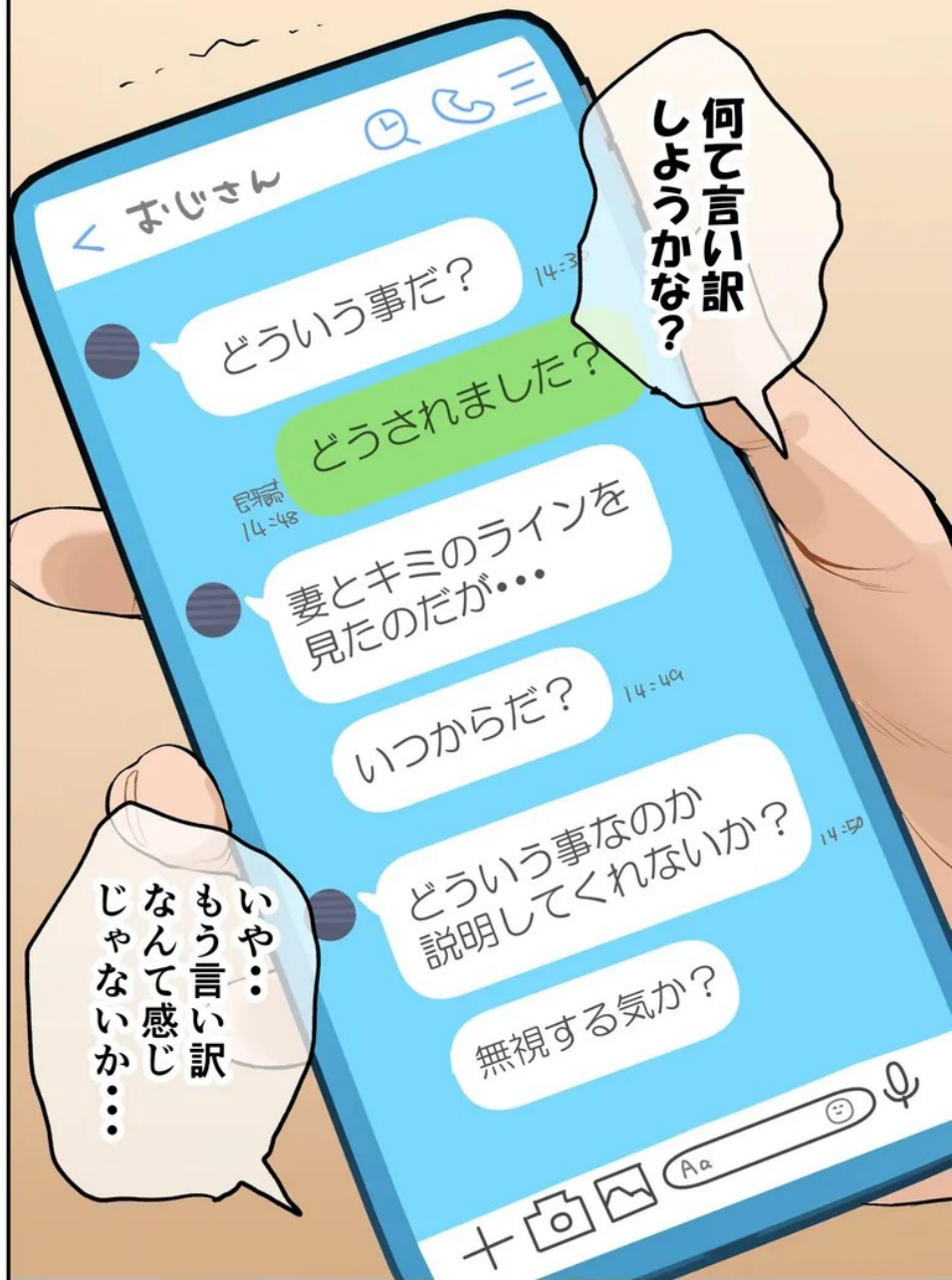
ビクン



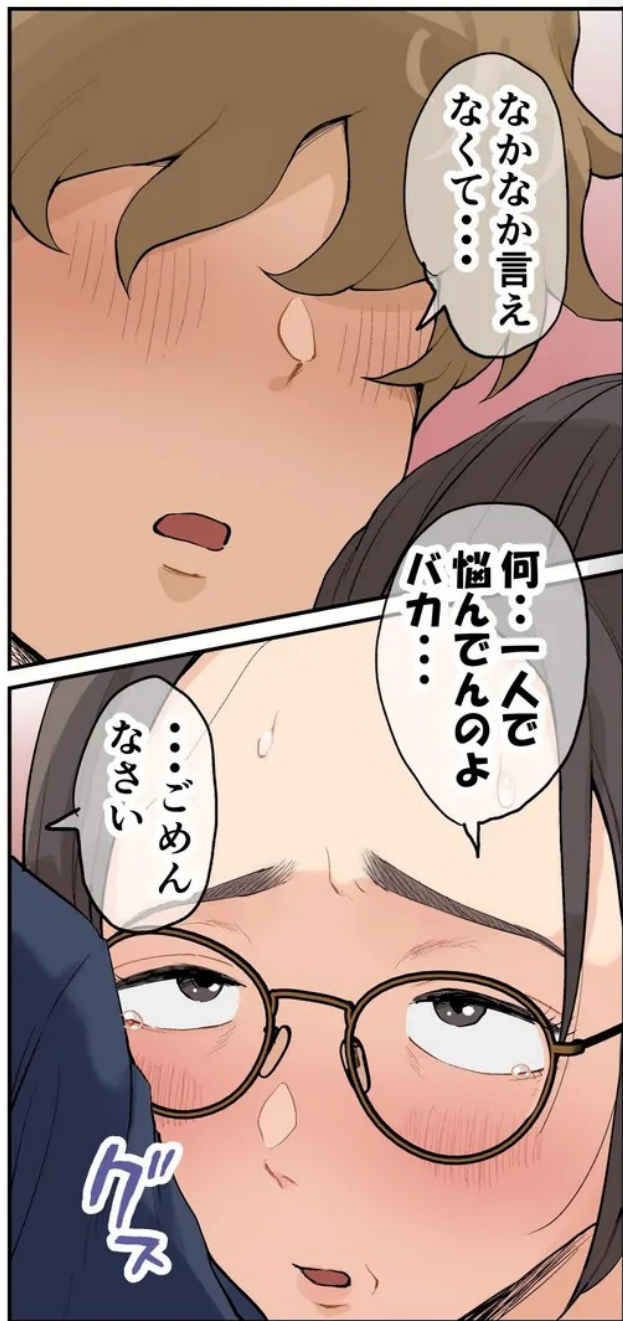
ビクン

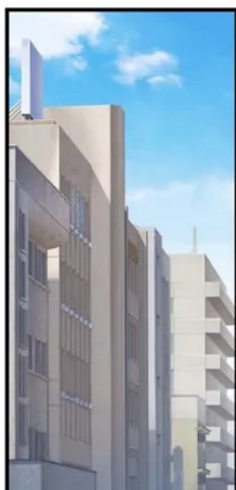
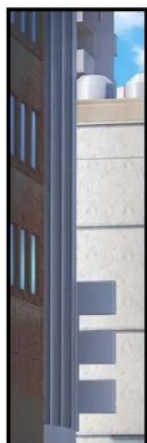
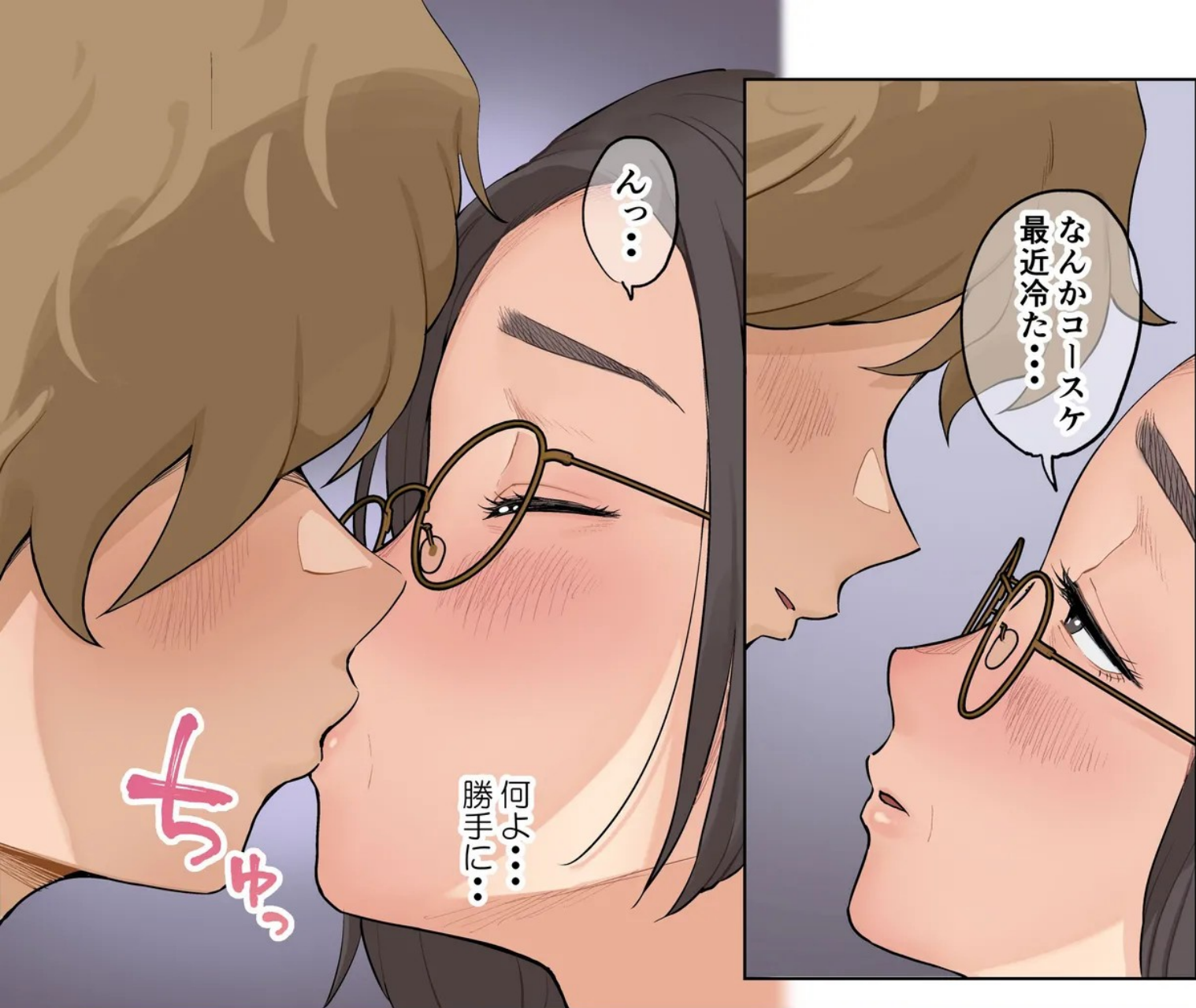














え？あれ
ご飯作ったの？

おうっ
おかえりー



ただいまー

ガッ



え？
：すこ

一応
クックパード
見たんだがな…

ああ：
どうせまた
遅くなると
思ってたな…



栄養とかも
あって…

めんどくさい
よな：
献立考える
とか…

何ていうか…



ありがとっ

おっ：おい
急に抱きつく
なよっ

いいじゃん
別に♡

ガッ



いやーやっぱ
主婦って
大変だわ

いつも
スマンな…

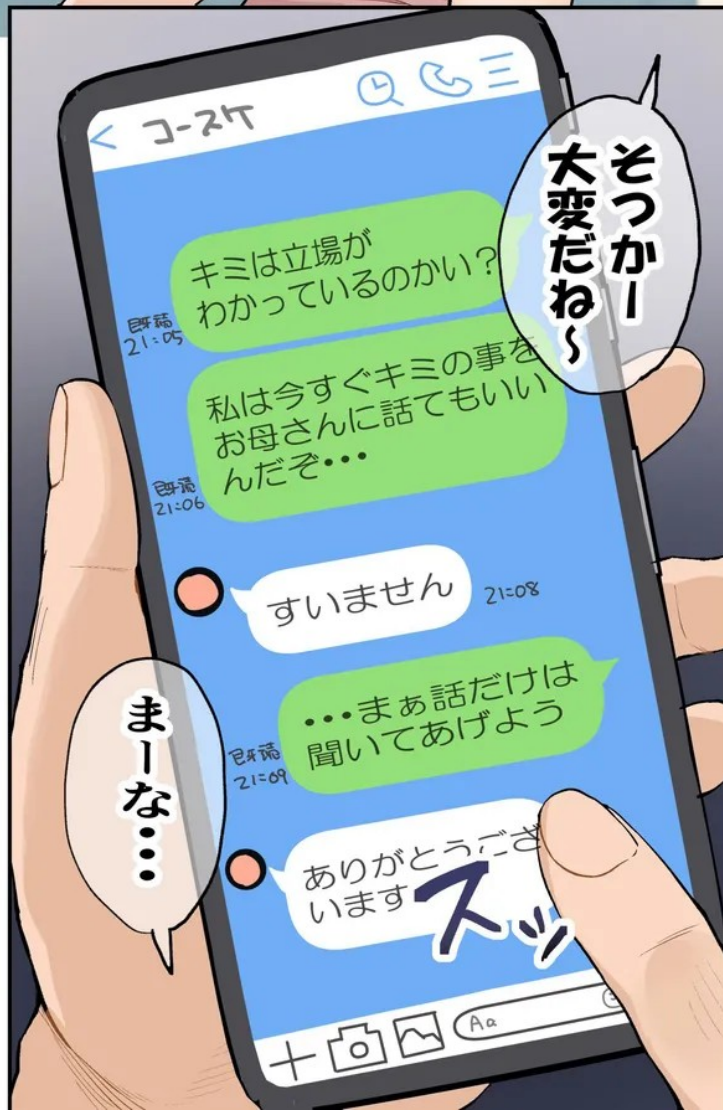


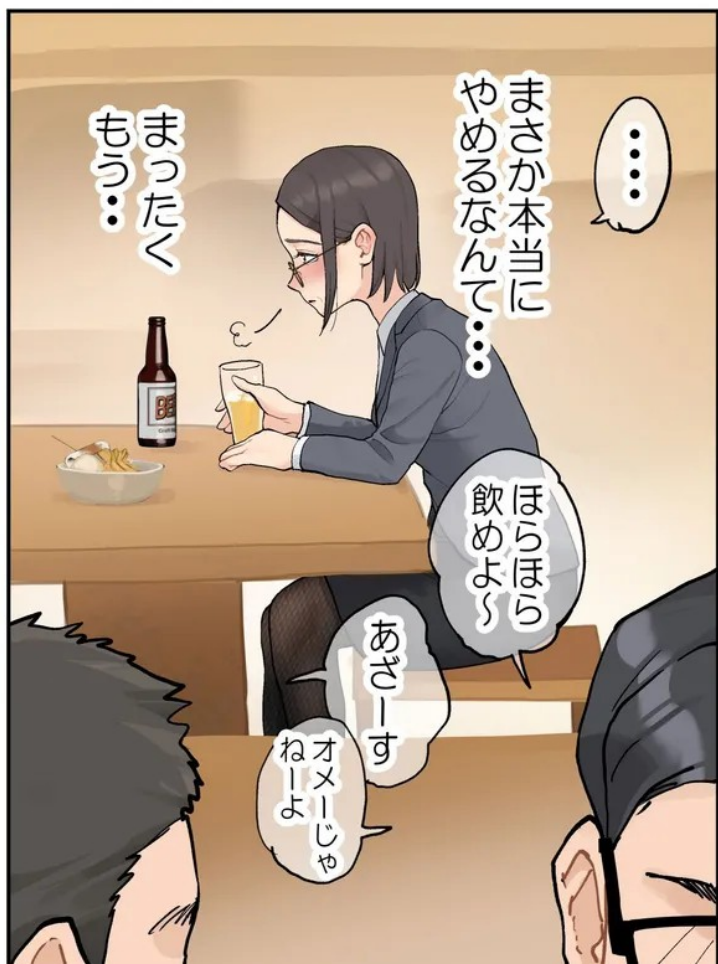
だけど…

味は期待
すんなよ…

：



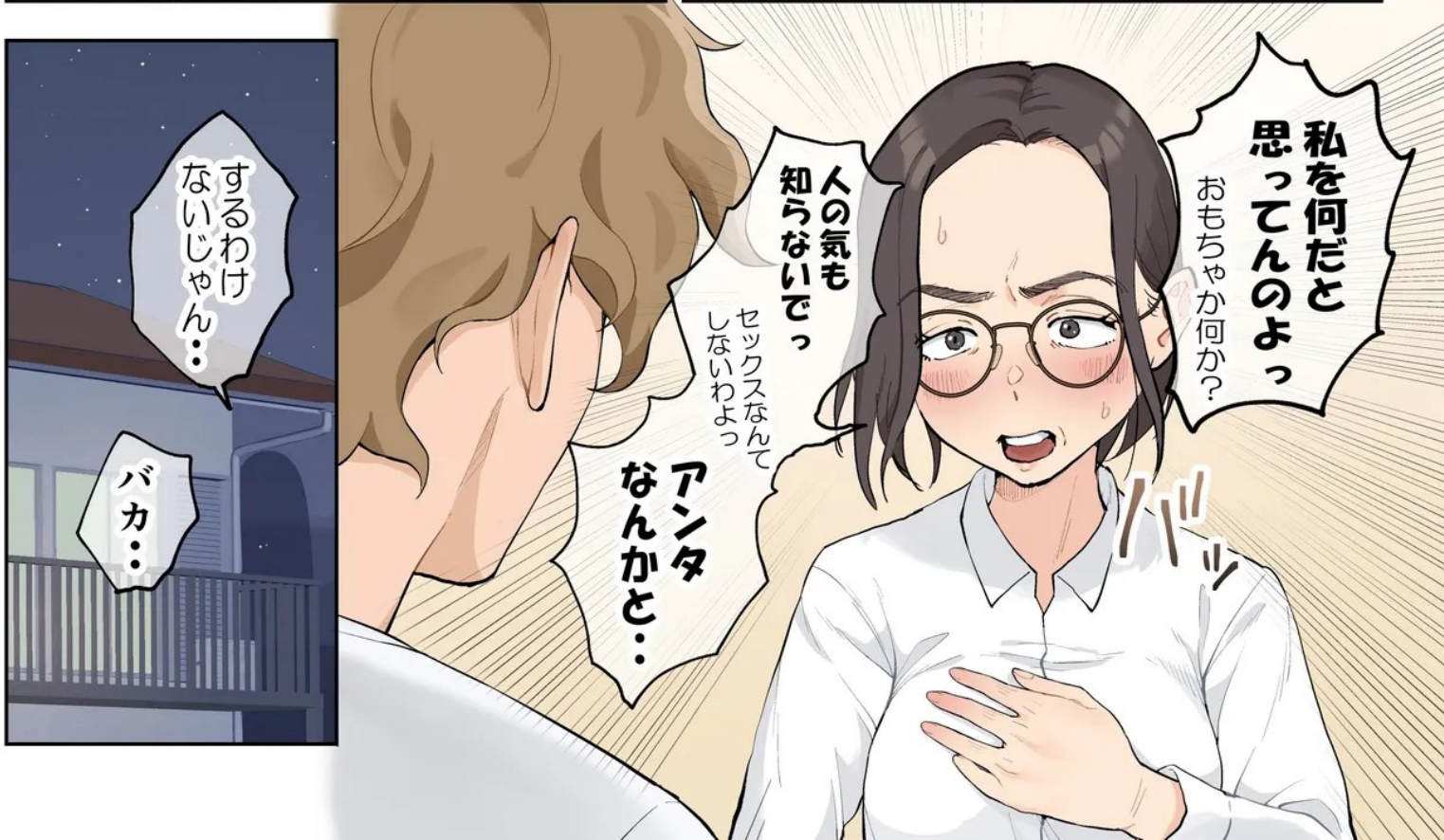
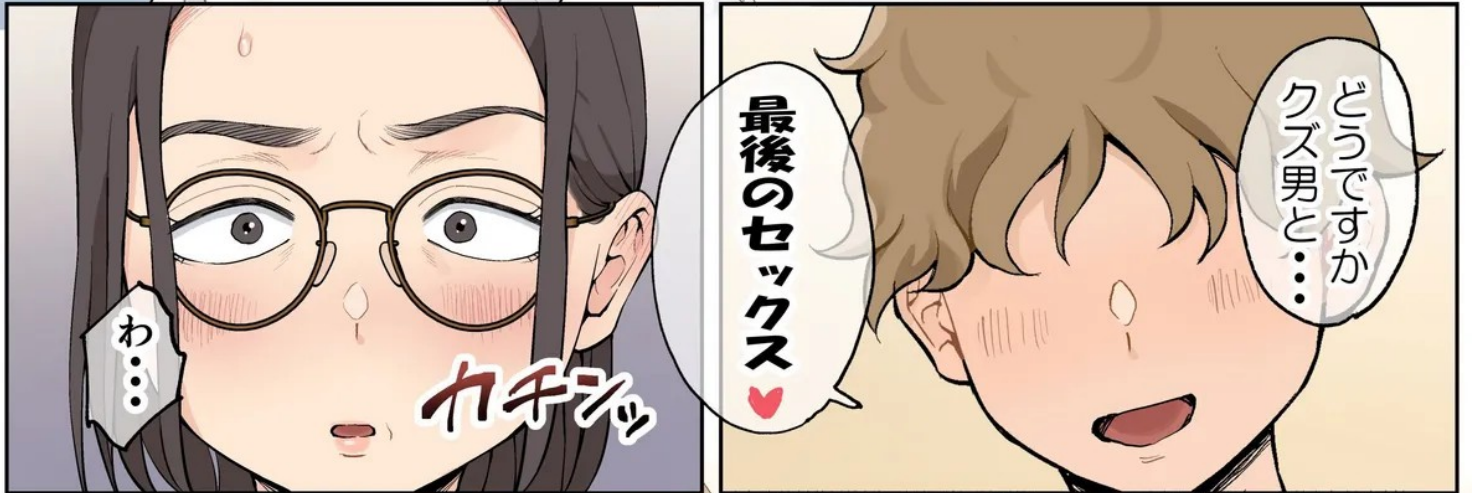












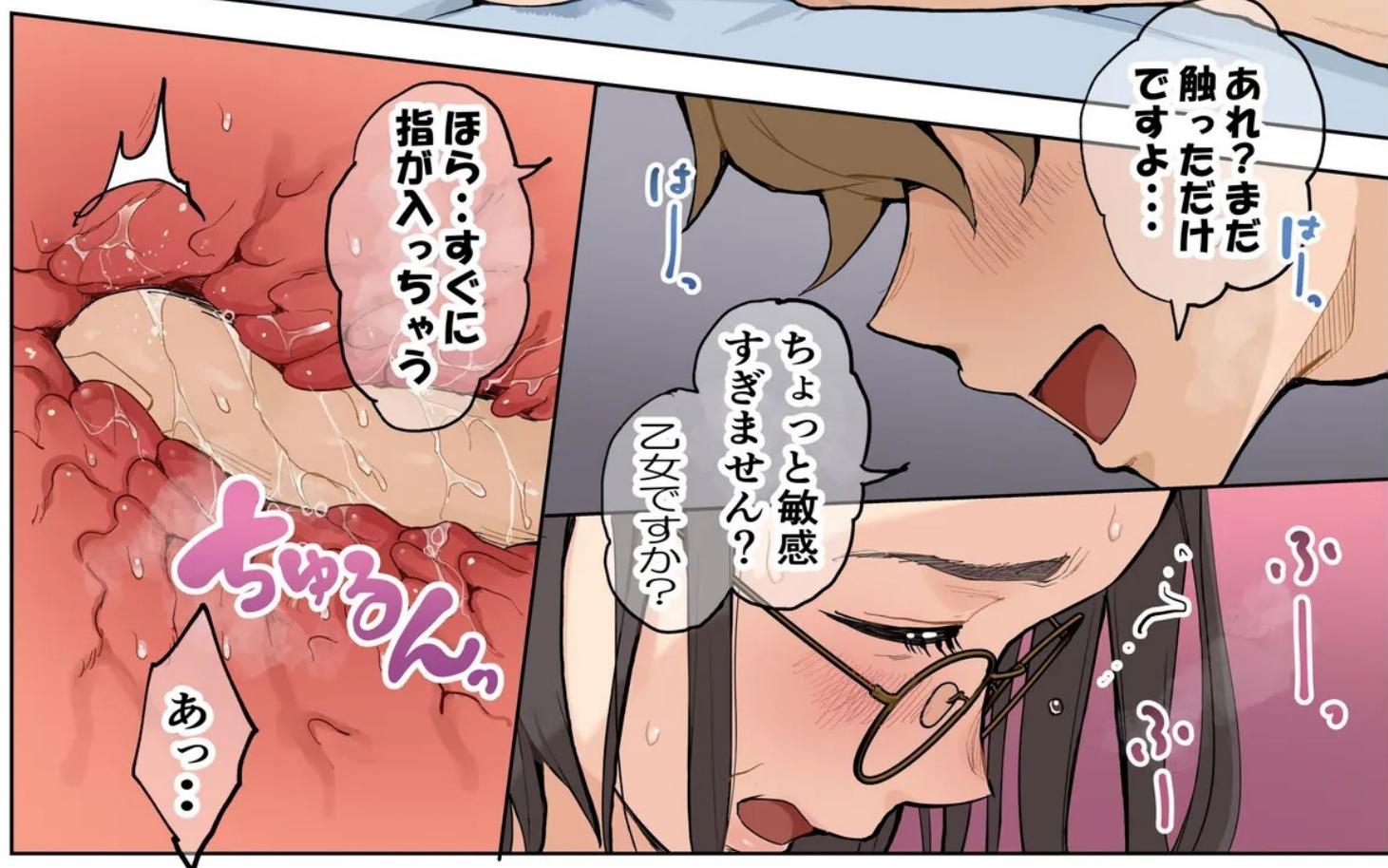














節操のない穴
ですね…

ホント…

ほら…どんどん
指に吸い付いて
きてますよ

あっ…

ち…
そこ…
だめっ



へ…変な事
言わないで…

淫乱おばさんって
感じですよ



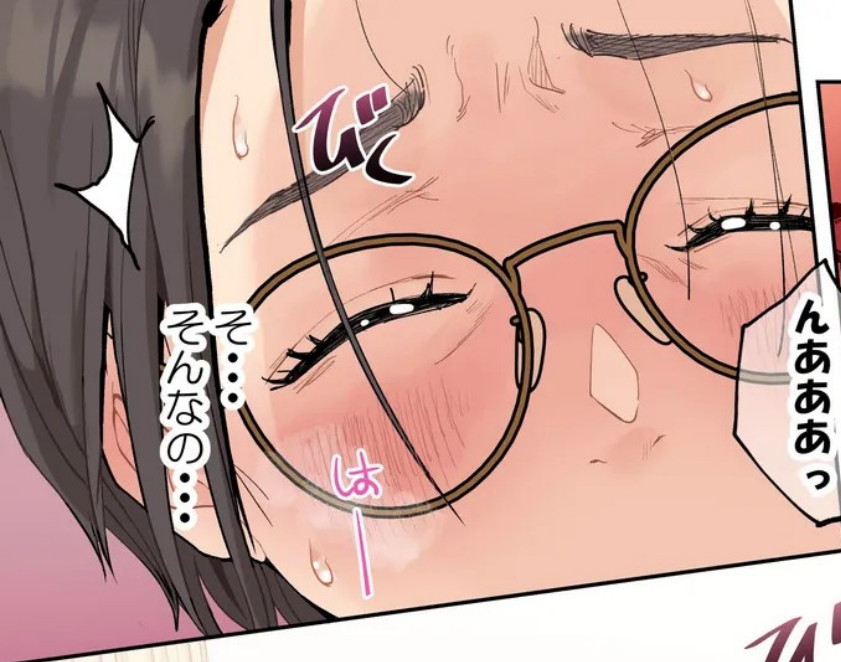
もしかして
自分で自覚
してないん
ですか？

えっ？

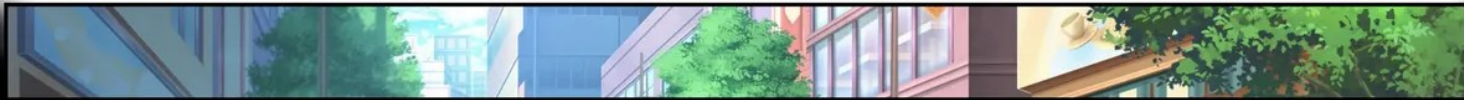
今…イキたくて
たまらないでしょ？

あ…いやあ…

ぬぢ









叔父さんは
事を大きく
したくないから...

ほら力抜いて

叔母ちゃんには
伝えないんだって...

立派な人だね...

やっ...やだ
ちよっと待っ...

あっ...

だから...
おじさんに
最後をお願い
したんだ...

「あと二日だけ
一緒にいさせて
下さい」って...

や...あぁ

もう...今日で
最後なんだ...

や...だ...

...めえ...

だからさ...



んああっ...

ちょ...
コースケえ

最後に
思い出してよ...

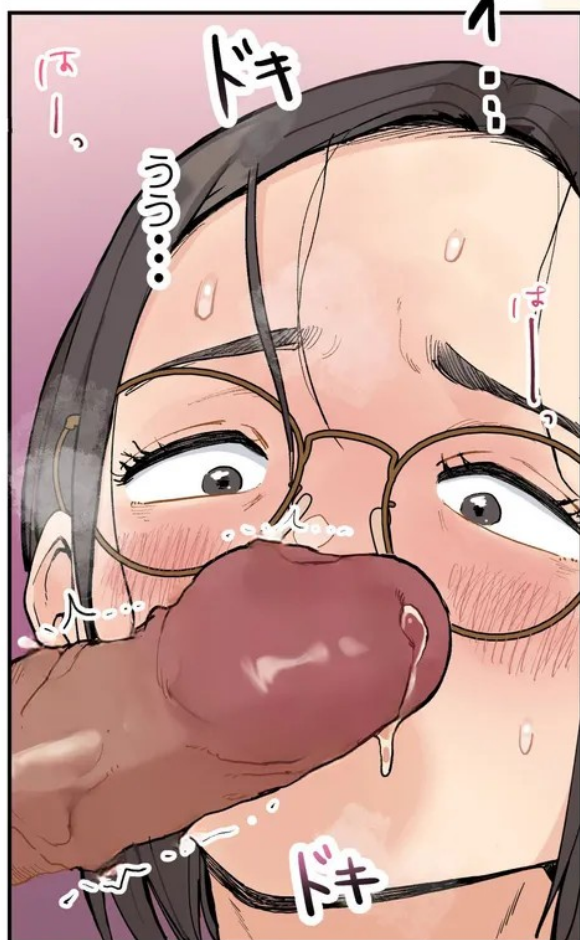
マンコ
こわれい...

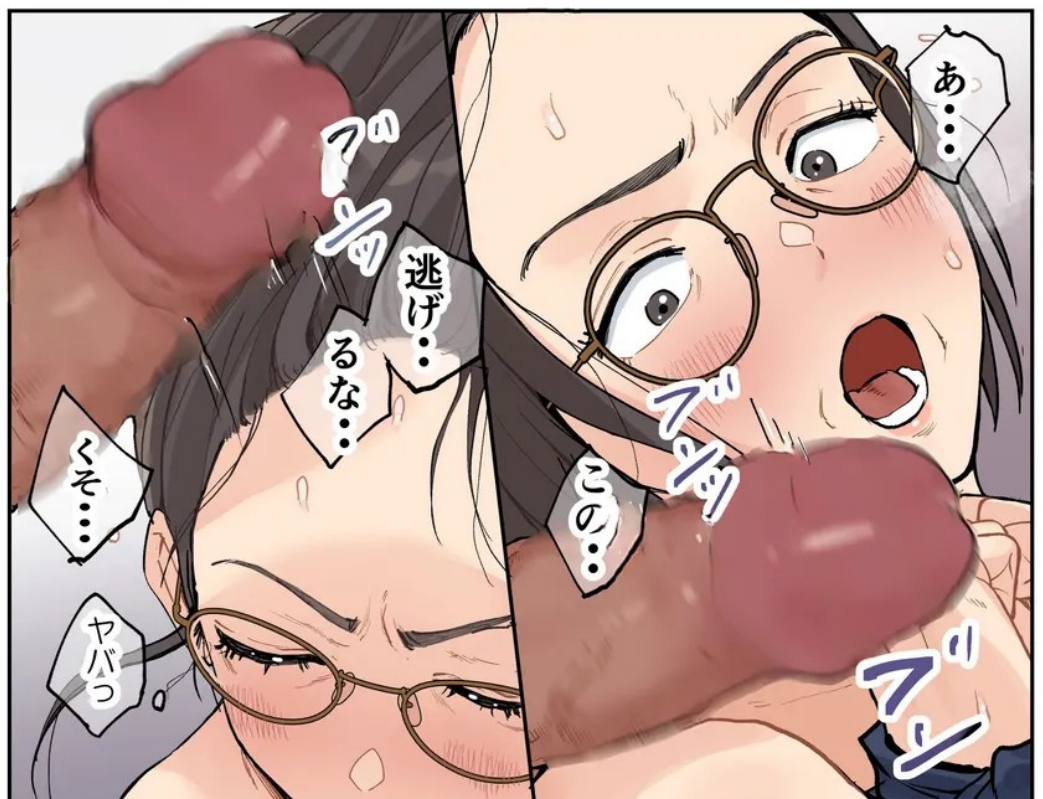
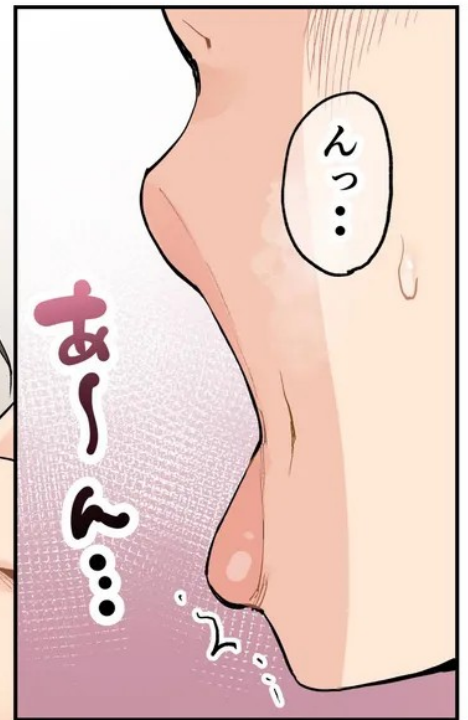
ボクとの約束を...

近所迷惑ですよ
深夜にW

はいはい
静かに
しましょーね







お・おおび

イグっ…
イグうう…

ひく

あらら…
叔母ちゃん
勝手に一人で
イカないでよ

ちよっと
からかい
すぎたかな…

ひく

はー

はー

お願いっ…こし
抜いてえっ…

グイグイ

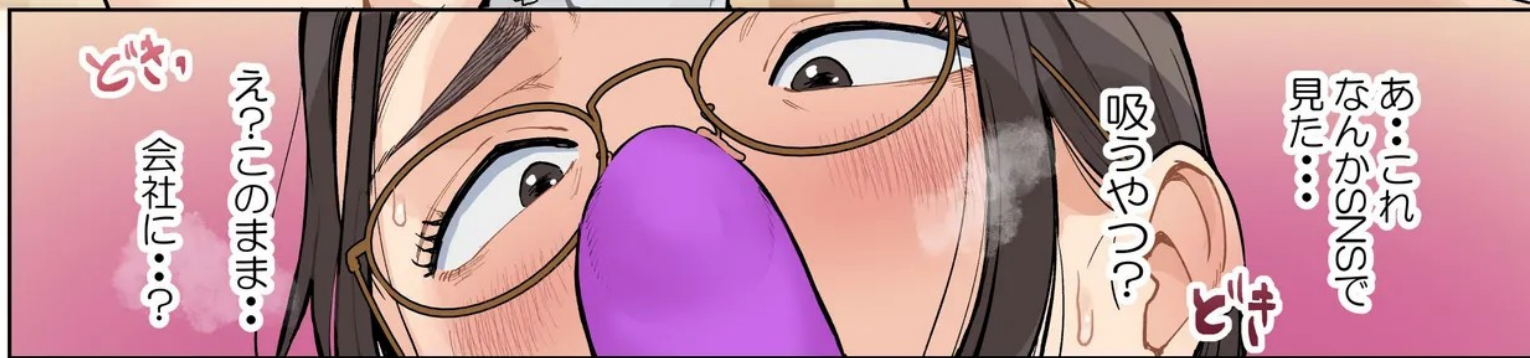
ひく

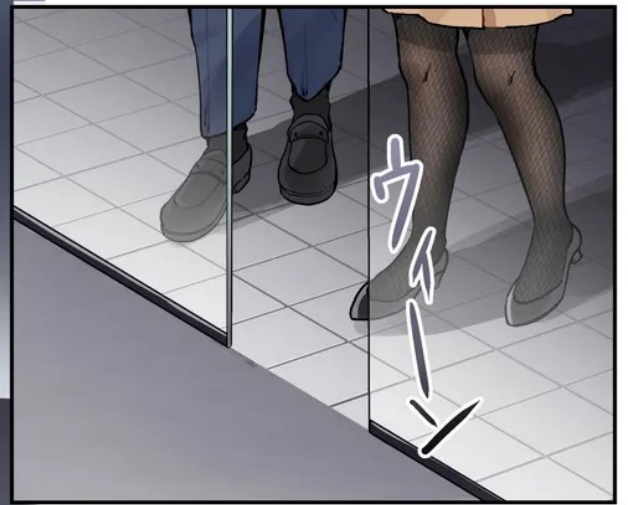
は

おっ

おっ















ちょ...誰か
来たら
とうすんのよこし...

すご...叔母ちゃん
ぐしょぐしょ
じゃん...

し...じょうがない
でしょ...

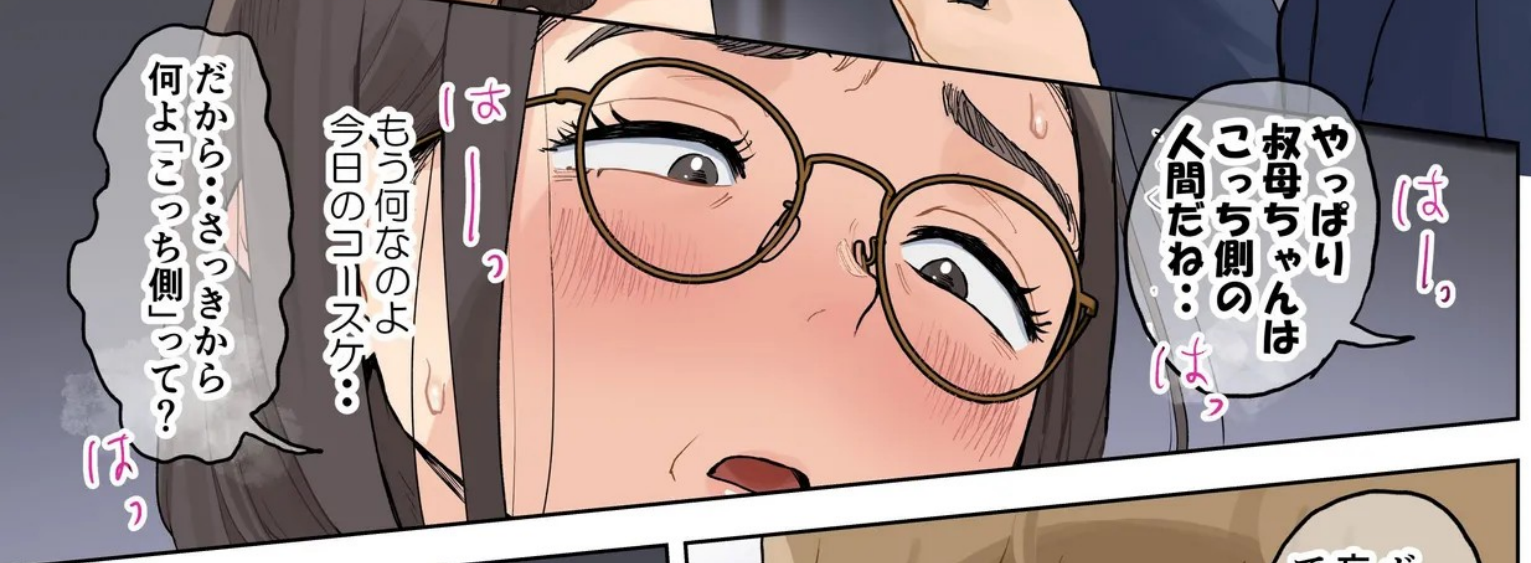
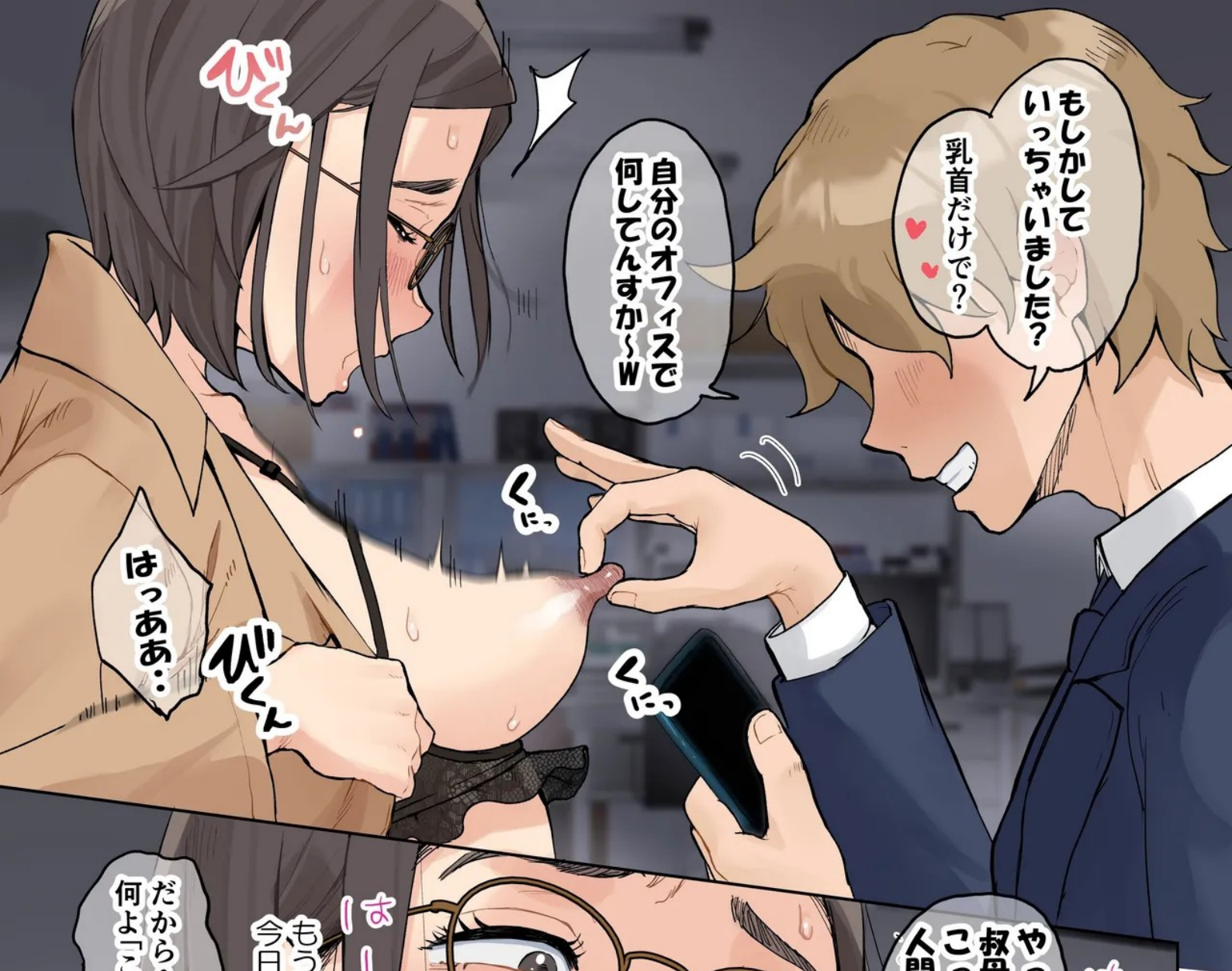
びく...
アンタがこんなの
入れるから...

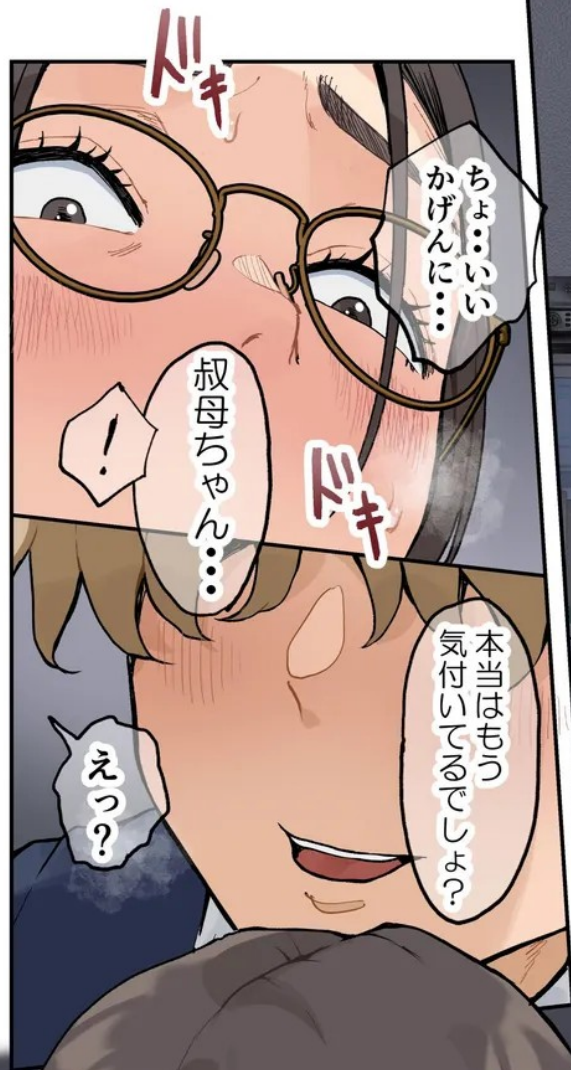
バカ: 何
撮ってんのよ
やめなさい...

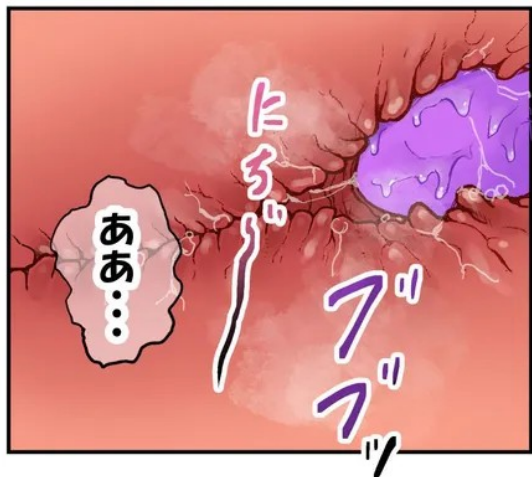
こら...
コースケ...



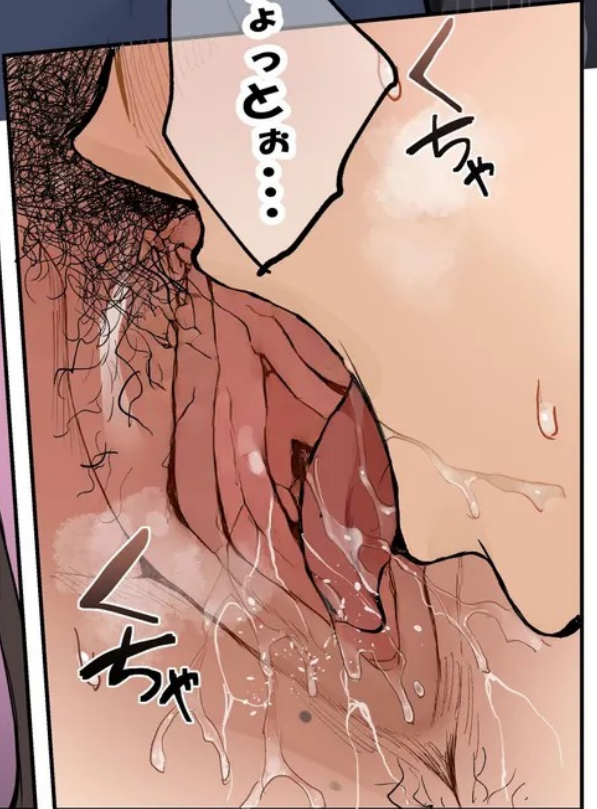
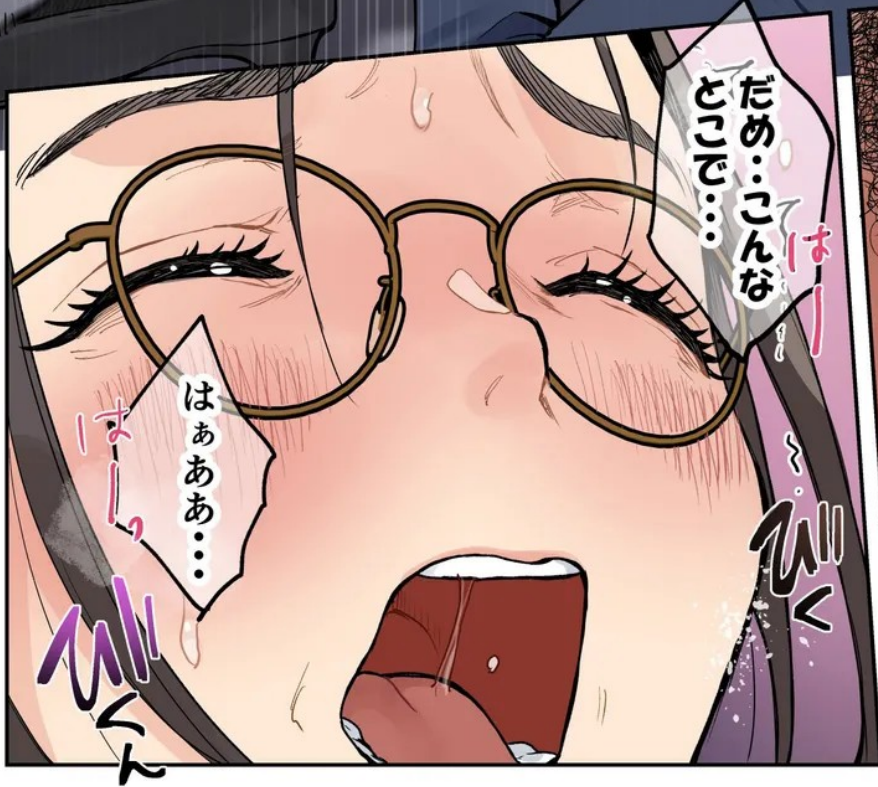
















いっ...

ガッ

んんっ

どろろ

はああ...

ぷる

ああ...

けー

ビクッ

もも

ぷる

んん...

職場で
イッちやった...

ショロロ...

はあああ...

けー



オマシコ舐められて
イッちゃった...

やっ...だめ
いま...

私が...いつも
仕事してるの...
なの...

イッた...
はー

また...オシッコ
出ちゃう...

だめ...
うって...



ほの...
はー

いつも見る
景色じゃん...

う...

何してるの
私...



それ…だめ

あ…

く…

んああっ…

お…

だめえ
コースケっ

変な声
でちゃうっ…

ちゅる。

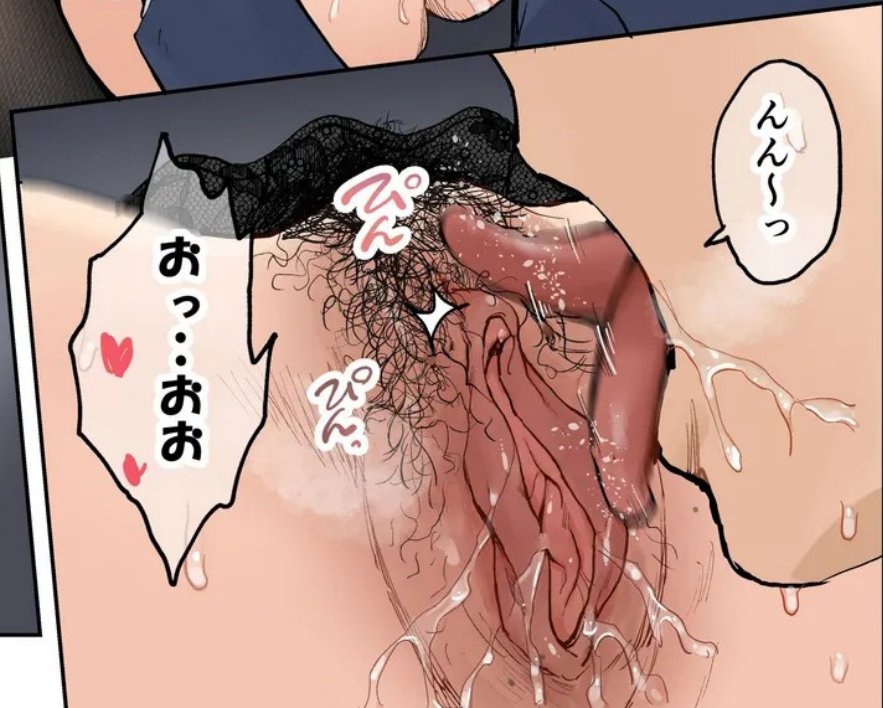
ぢゅる。



これ…
私の…

カリッ

びゅ



んんっ

おっ…おお

ぴん
ぴん



ボクの机…もう
ビチョビチョ…

まあ…もう
使わないから
いいか…

は…
や…だ
撮らないで…

は…
は…
は…

ビクン
て…

叔母ちゃん
ウラアカとか
ないんすか？

や…だめ
け…

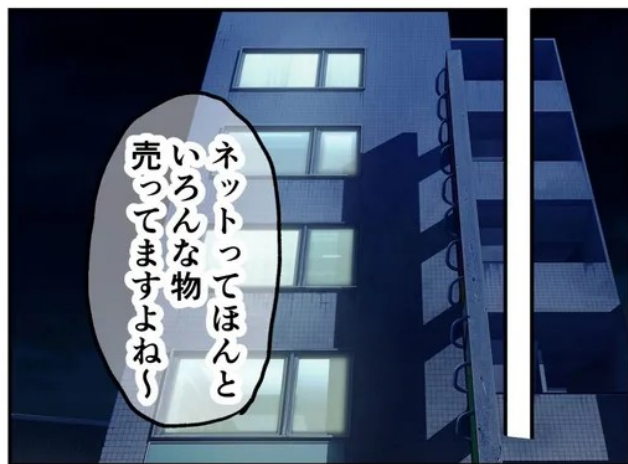
コレすぐバズり
そうだけどなり

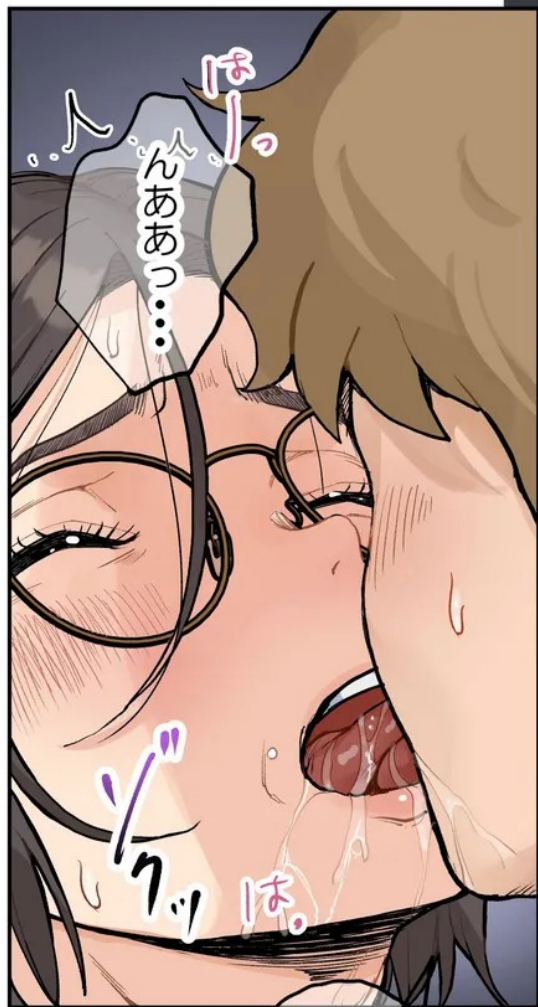
いや…マジで
エロっ…

やめて…
お願い…

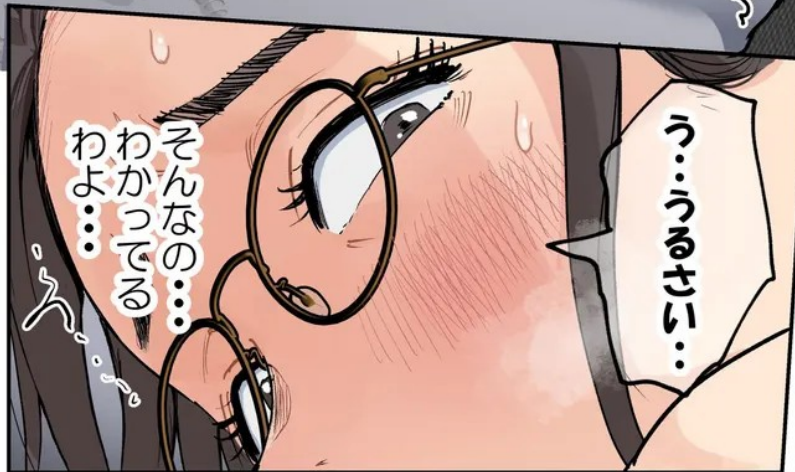
は…











ゼロw

あっ

ビクン

ひゅっ

ジロホッ！

あははホントに
お下品にケツふって...

さすが「お下品育成
ローション」っ

ガッ

ガッ





う...あ

ずっと...「あっ...お」
と...か...って下品な声
で...たもんねW

は
まだ...中が
痺れてる...



どうだった?
それ...

す
けっこう効いたでしょ
そのローション...



どろ

一応...付けて
おくか...

ああ...ゴムね
ホッ...



あ...そ...だ
今日は14日か...

前回がたしか...

え?



あーやつは
そうだ...

え...と...たぶん
スーツの中に...

次は
何よ...

す





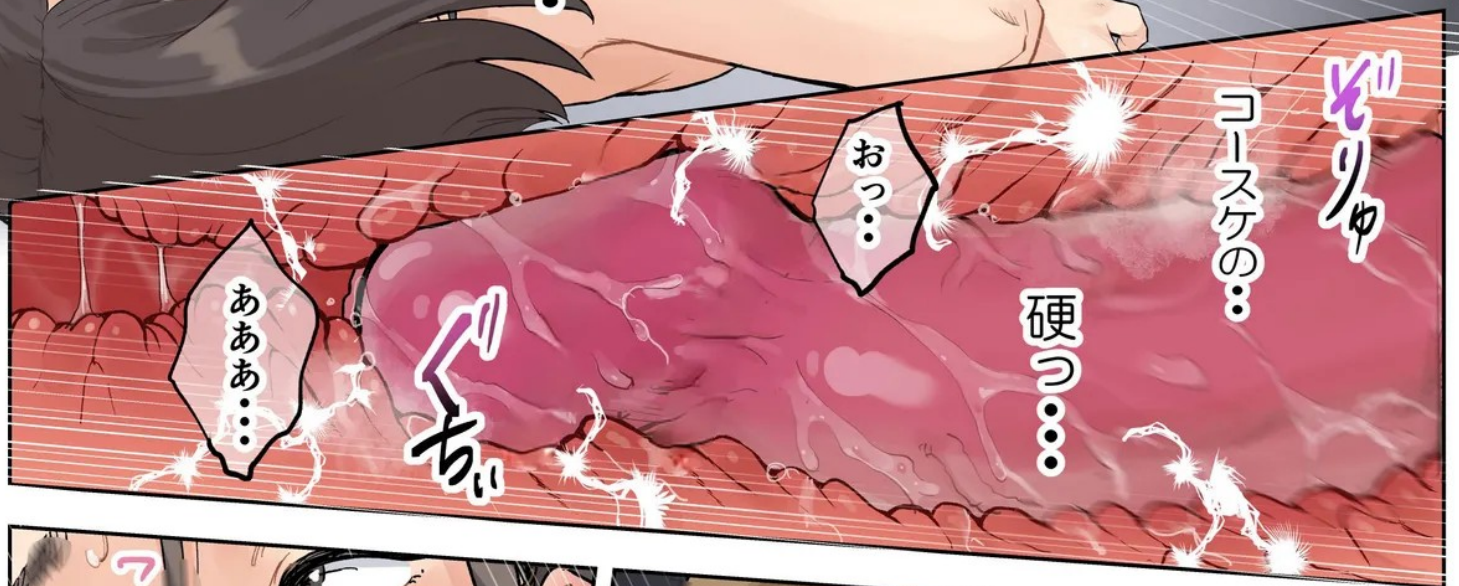
ず

よっ...と

んっ

はっ...あああ

あ...



ぞりゅ

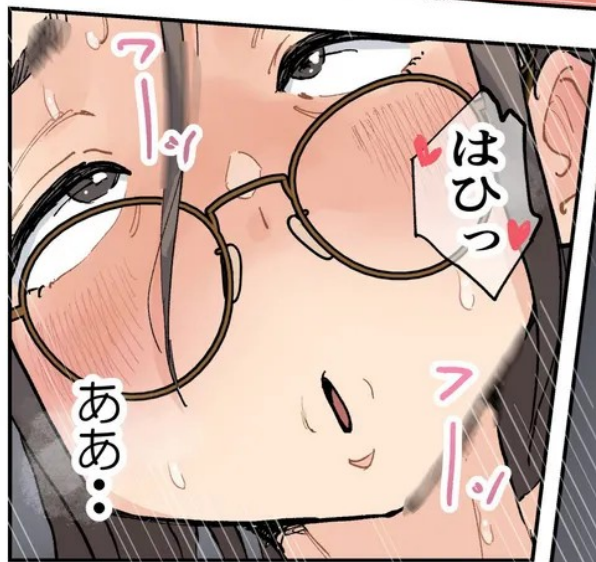
コースケの...

硬っ...

おっ...

ちっ

あああ...



はひっ

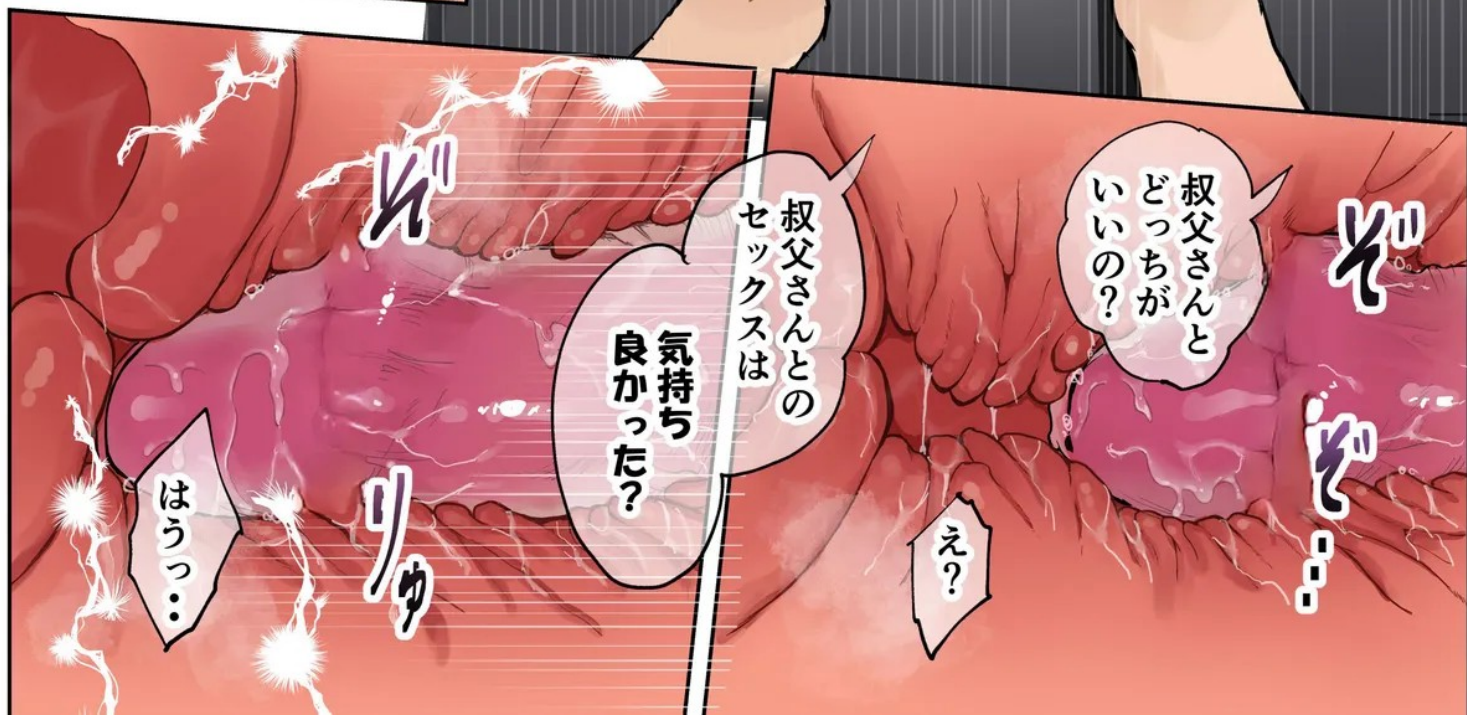
ああ...

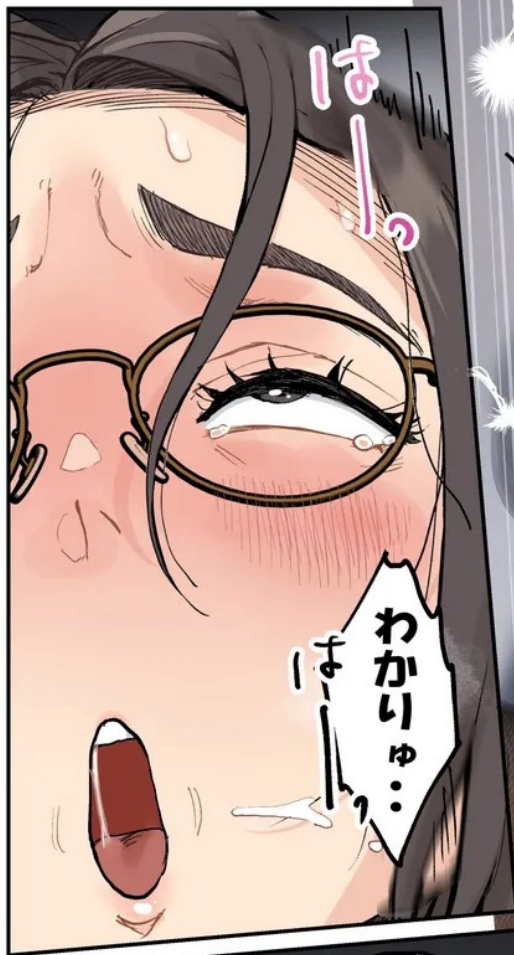


はあ

はは...

幸せそうな
顔w





わかいゅ…



はは：すげー
だらしない
顔w



またイッチャい
ました？



どどん硬く
なってる？

おっ：だんだん
子宮が下りて
きたかな？

ほら子宮孔キス
してるの
わかりますか？

わっ…



ボクと結婚して
毎日生ハメしよう

ぽー

びん

あっ...

はあっ...

何言ってるの
ばか...

あっ...そこ

びん

だけど叔母ちゃん
生チンポがいいって
顔に描いてあるよ...

ぽー

ぽー

そ...そんな
事は...

ほらっ...図星w

ズンッ

ズンッ

びん

ずちゅ

ずちゅ

おっ

ずるいよ
コースケ...





教えてよ
コースケ...

はー、
何で今日が
最後なの？

はー

ぬるお

はー

私が大好きな
コースケのチンポ...

ぬるお

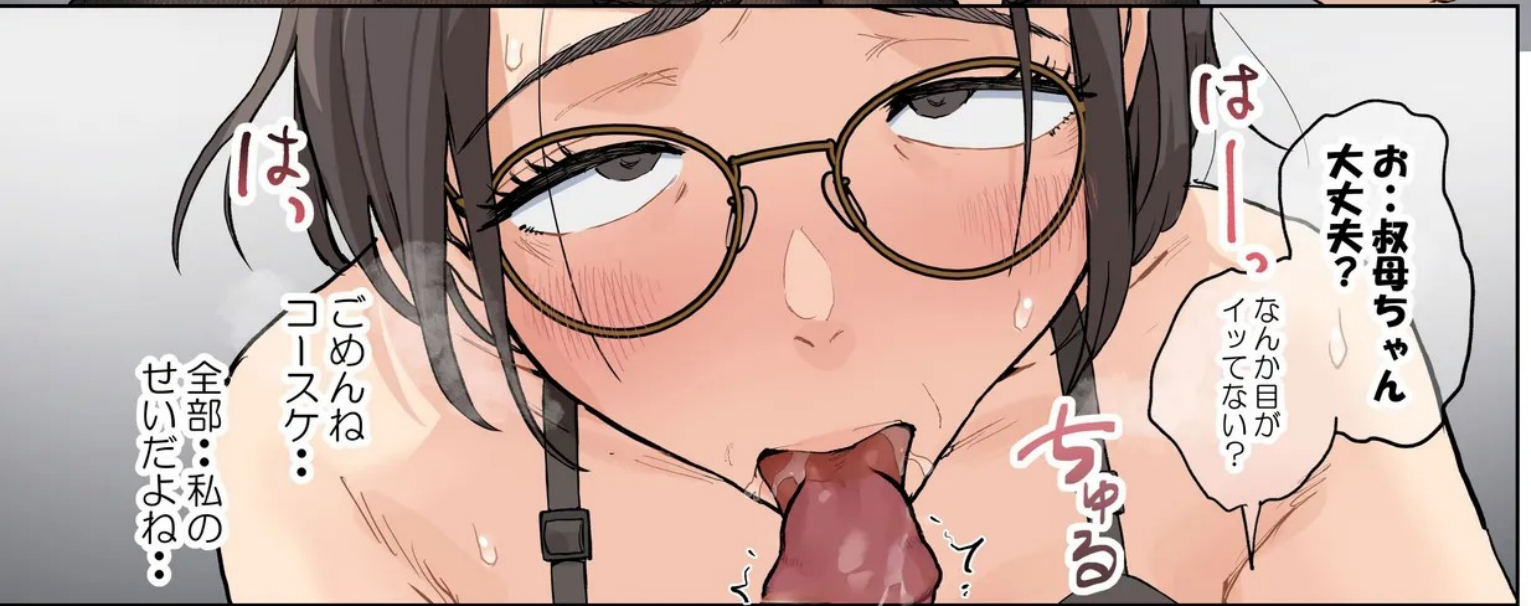
はー

これで終わりのなんて
嫌よ...私...

うっ...おお...

はー

はー

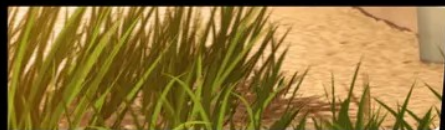
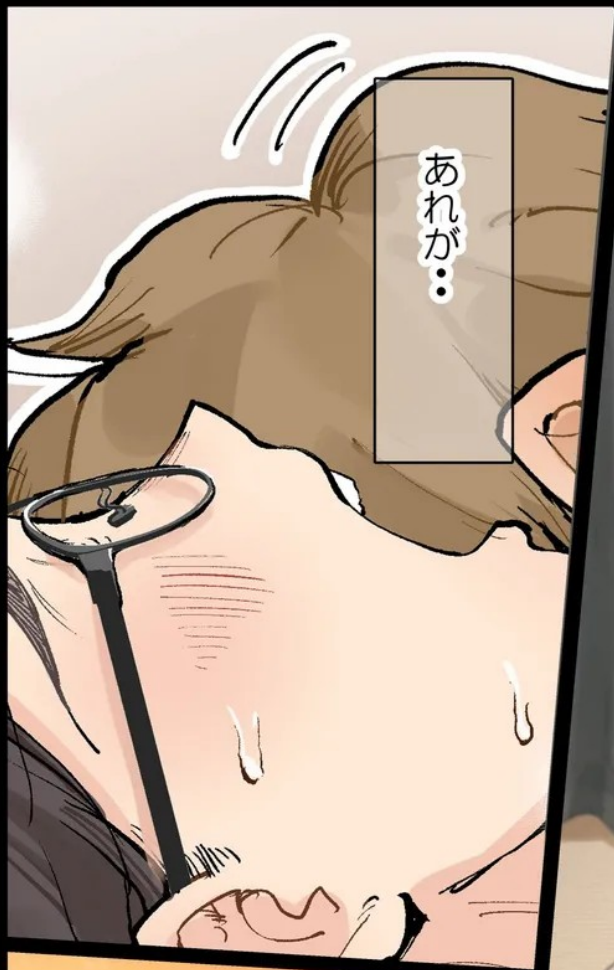


私があんな事
したから……

叔母と甥っ子で
セックスなんて……

あれが……

ずっとコースケを
苦しめているん
だよな……



私から逃げる
なんて……

うおおっ……

そこっ
やば……

そんなの
ゆるさないから……

つぶっ

熟女の叔母さんに「カワイイ」を
連呼しちゃうヤバい甥っ子の話2.5を
読んでいただきありがとうございます！

当初はシリーズ3作目の完結編として
130ページくらいのボリュームで発売
しようかと思っていましたが、
毎度のごとく作業が遅れてきて
「年内に終わらないかも・・・？」
という状況になり、急遽、本作を分割して
発売することとなりました。

きっと読んでいてお気づきだったと
思いますが、1作を分割したこと
により、ドラマ部分の非エロページの
比率が多くなってしまいました。

ホント申し訳ないです。

次回作の完結編については既に
作業に入ってますので、そこまで時間は
かからないかと思います。また分割した
後半部分ですので導入ページもなく
最初からエロ全開の完結編となる予定です。

それでは、完結にむけて、
また頑張ってシコシコ描きます。
最後まで読んで頂き
ありがとうございました

藤崎 チロ

